

秋の火災予防運動

大規模消防訓練

秋の火災予防運動の一環として11月10日(金)広島市佐伯消防署による大規模消防訓練が原田病院で実施されました。

原田病院の職員で構成した自衛消防隊員と佐伯消防団五日市南分団、消防隊員の計66名が火災発生時の役割や行動・連携を確認しました。

訓練は震度5強の地震により原田病院5階厨房で火災が発生



した想定で行い、屋上に取り残された患者さんをはしご車で救出、はしご先端の放水口から放水・消火しました。

最後に佐伯消防署・尾形昌克署長から「職員のスムーズな取り組みをみて心強く感じた」とのお言葉をいただきました。



第51回自衛消防隊消防競技大会



一陽会チーム

左 石原 翼(一陽会クリニック)
右 白井 芹菜(ケアレジデンス楽々園)



あさひメディコチーム

左 田村 直也(グランホームあさひ)
右 徳弘 昌嗣(グランホームあさひ)

10月24日(火)広島市消防局が主催する“第51回自衛消防隊消防競技大会”に一陽会とあさひメディコから2チームが参加し、消火器男女の部で一陽会チームが82チーム参加のなか準優勝を獲得、消火器男子の部では、あさひメディコチームが82チーム中6位と好成績を収めました。

今回の消防訓練、消防大会で学んだ知識と経験を職員全員で共有し、今後の防災活動に活かしていきたいとします。

訪問リハビリのご案内

クローバー訪問看護ステーションでは理学療法士による訪問リハビリを行っています。

住み慣れた地域で長く過ごしていただくために、理学療法士がご利用者宅を直接訪問し、主治医の指示に基づきご家庭内でリハビリテーションを行います。

マンツーマンで利用者の方お一人おひとりの身体能力に応じた運動指導を行います。

詳しくは、クローバー訪問看護ステーション、またはご担当のケアマネージャーにご相談ください。

クローバー訪問看護ステーション ☎082-925-6222

訪問可能な件数には限りがございます。お早めにご連絡ください。

クローバー訪問看護ステーション 所長 大泉 淳

訪問リハビリの目的

- ①身体機能が低下された方の機能の維持・向上
- ②歩行や入浴、トイレの動作の練習など、家庭内だからこそできる日常生活の自立を助けるための働きかけ
- ③ご家族の方に対する介助方法や福祉用具についてのアドバイス



近隣医療機関のご紹介

高見内科 (西区草津本町)

「家庭医として在宅診療にも力をいれています。」今回は、西区草津本町にあります“高見内科”のご紹介です。

広島市西区で妻と共に開業しております高見でございます。私は呉市の出身ですが、縁があってまだ30代でしたが平成2年より西区草津南町で診療所を開業しました。平成8年よりは妻と2診体制で診療しておりましたが、ビルの1階と2階にわかれていたこと、また手狭であったことなどより本年6月より西区草津本町に移転しました。私は呼吸器、アレルギーが専門ですが家庭医として各種疾患の相談にのっています。在宅医療も積極的に行っております。妻は糖尿病を専門に診ております。基本的に糖尿病内科は予約診療をしており一人一人に十分な時間をとって診療しています。

原田病院とは30年来の縁があります。私が広島大学の大学院在籍中に原田知先生の御厚意により非常勤で勤務させて頂きました。今でも本当に感謝しております。また日頃は快く患者さんを受けて下さり大変ありがたく思っております。今後もしも迷惑をおかけすると思いますがよろしくお願いいたします。

院長 高見 俊輔 高見 京子



- 所在地 〒733-0865 広島市西区草津本町25-1
TEL:(082)278-6050 FAX:(082)278-6051
- 診療科目 内科・呼吸器内科・アレルギー科・糖尿病内科・代謝内科
- 診療時間 午前 9:00~12:30(木・土曜日は13時)
午後14:30~18:30
- 休診日 木曜日午後、土曜日午後、日曜日、祝日
- 駐車場 8台



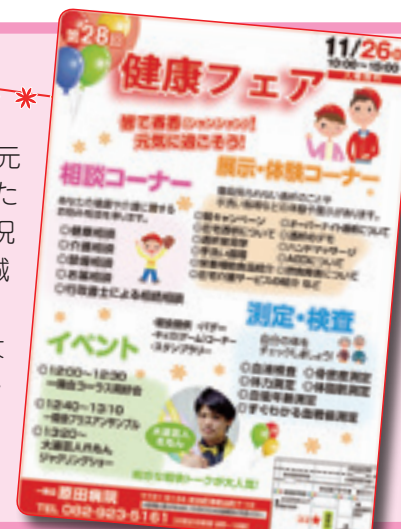
健康フェア 御礼



11月26日(日)、「皆で香香(シャンシャン)！元気に過ごそう！」をテーマに原田病院で開催した「第28回健康フェア」は来場者904名と、大盛況のうちに幕を閉じることができました。ご来場誠にありがとうございました。

一部の催しでは、長い行列が出来てしまい、大変ご迷惑をおかけしました。今後は全ての催しをできるだけスムーズに楽しんでいただけるよう、工夫してまいります。

なお、バザー等の収益金は広島県腎友会原田支部さまに全額寄付させていただきました。ご協力ありがとうございました。





透析患者と体液量測定的重要性

原田病院 血液浄化部 臨床工学技士 田中 秀人

今回は体液量測定についてお話をさせていただきます。体液量とは体内に存在する水分の量を指します。成人の体液量は体重の約60%で、細胞内液(ICF)と細胞外液(ECF)に分けられます。細胞内液はそのうちの40%を占め、細胞基質のことを示します。細胞外液は20%を占め、血液(血漿のみ)やリンパ液が4.5%、血管外の細胞間を満たす組織液が15% (組織間液、細胞間液、間質液)、体腔内の体腔液が0.5%となっています。

透析患者さんは一般の人に比べて心血管系疾患(CVD)を起こすリスクが高いことがわかっています。その理由として、高血圧や体液過剰が心不全を誘発する主要な原因となることが挙げられます。日本透析医学会は「透析患者における心血管合併症の評価と治療に関するガイドライン」の中で、治療の原則は、「厳格な塩分制限に基づく体液量管理の徹底である。」と述べています。体液量が増加すれば高血圧になるリスクが高くなります。透析の治療では水分を除去していますが、体液バランスを是正することにより、心臓の左室肥大への進展を抑え、生命予後のさらなる改善につなげるため、体液量管理は大変重要となっています。



測定風景

現在の体液管理指標としては胸部X線検査、超音波検査にて左心房径や下大静脈径の測定、血液検査でのヒト心房性ナトリウム利尿ペプチド(hANP)、脳性ナトリウム利尿ペプチド(BNP)など、さまざまあります。当院では更に体液管理指標として、バイオインピーダンス法を用いたフレゼニウス社製BCM®体組成分析装置を使用し体液量測定を行っています。バイオインピーダンス法は微弱な電流を流して体内の電気抵抗値を測定することにより体液量を測定します。BCM®は非シャント肢側の手首に電極を装着(写真1)し、5kHzから1,000kHzまでの異なる50の周波数を用いることで総体液量(TBW)と細胞外液量(ECW)などに相当する電気抵抗を算出しさまざまな体液組成

を測定します。検査時間は3分ほどで終了し、簡便に体液量を測定出来る装置です。BCM®で測定可能な項目としては(図1)をご参照ください。

BCM®では、オーバーハイドレーション(OH)が測定できます。OHは体液過剰量を表すもので、プラスだと体液過剰状態、マイナスだと体液不足状態となります。OHを知ることで血圧コントロールにおけるドライウェイトが適正かどうかを判断することができ、一つの体液管理指標として利用出来るため、よりよい医療技術を提供することが可能になりました。

医療技術の向上と共に、患者さんを第一に考えた安心で安全な医療をこれからも継続していきたいと思います。今後ともよろしく願いいたします。

測定項目		測定項目	
ATM	脂肪組織量	OH	体液過剰・不足量(L)
LTM	除脂肪組織量	V	尿素分布容積
FTI	脂肪組織指標(ATM/身長 ²)	OH/ECW	相対的な体水分過剰・不足
LTi	除脂肪組織指標(LTM/身長 ²)	OH Post	透析後に予想される体液過剰・不足量
rel.LTM	除脂肪組織相対量(LTM/体重)	OHPost/ECW	透析後に予想される相対的体液過剰・不足量
FAT	脂肪量	NH Weight	体水分量が正常な場合の体重
rel.FAT	相対脂肪量	TBW	総体液量
BMI	肥満度指数(体重/身長 ²)	ICW	細胞内液量
BCM	体細胞量	ECW	細胞外液量
ATM	脂肪組織量	ECW/ICW	ECWのICWに対する比率

(図1) BCM®での測定可能項目



第26回 中国腎不全研究会

日時：平成29年11月4日(土)～5日(日)

場所：広島国際会議場

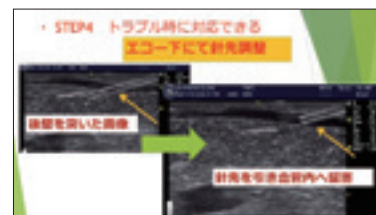
平成29年11月4日、広島国際会議場で開催された“第29回中国腎不全研究会”に一陽会から、ワークショップ1演題を含む10演題の研究発表を行ってまいりました。今回の研究の成果を今後の診療に活かしていくよう努めてまいります。

＝ワークショップ：透析の開始と終了技術の教育＝

～エコーガイド下穿刺におけるスタッフ教育の取り組み～

○多川和宏、高森佳代、濱野親子、中村健一、寺尾奈美、中段沙緒里、藤原貴絵、寺尾貞巳、村田篤志、木村ひとみ、大畑 楓、山形智子、山本美由紀、昌木秀介、森田直美、手島和子、丹治知恵、碓井公治

当院は2012年11月シャント管理チームを発足し再穿刺状況・STS・VAエコー検査・エコーガイド下穿刺や教育・VAイベント治療の把握と確認・穿刺指導など様々な活動を行っている。2013年7月エコー機を導入、現在VAエコー検査を行えるスタッフは4名、エコーガイド下穿刺や針先調整を行えるスタッフが21名である。今回、当院におけるエコーガイド下穿刺教育プログラムのスタッフ指導体制について報告する。穿刺開始前にあらかじめ作成したシャント図並びにVAエコー検査からの情報を確認する。穿刺トラブル時や穿刺困難者はエコー機を使い血管の深さや走行を確認しエコーガイド下穿刺を行う。エコーガイド下穿刺は視診、聴診、触診だけでは得られない可視化した情報を得ることで安全で確実な穿刺ができ、再穿刺率も1.34%から0.67%に減少した。エコーガイド下穿刺が出来るスタッフを増やすことは、穿刺業務の短縮のみならず穿刺に対する負担も軽減できた。技術習得において指導の一貫性を保つため、マニュアルの作成とSTEP1～4の教育プログラムを用いてスタッフ指導を行っている。STEP1はエコー機の操作・血管の描出ができる。STEP2は穿刺部位の決定ができ、マーキングができる。STEP3は血管シミュレーターに穿刺(誘導)ができ、エコー使用者の誘導に従い穿刺を行うことができる。STEP4はトラブル時に対応できる。以上4段階の技術習得は穿刺技術向上の取り組みと認識し指導する必要がある。



●その他の研究発表

心房細動を有する塞栓性多発脳梗塞精査の過程で感染性心内膜炎を診断した1例

○芦谷亜季、藤野早知栄、長崎孝平、宮崎真美、浅井真理子、小野京香、西澤欣子、水入苑生、重本憲一郎

当院におけるオーバーナイト透析についての検討

○藤野早知栄、長崎孝平、宮崎真美、芦谷亜季、浅井真理子、小野京香、西澤欣子、内藤隆之、水入苑生、重本憲一郎、碓井公治、丹治知恵、正木崇生

当院における透析液水質管理の取り組み

○木村ひとみ、谷 雅和、昌木秀介、稻本健司、森田直美、手島和子、本丸忠生、丹治知恵、碓井公治

当院のシャント管理の取り組み

○高森佳代、多川和宏、大畑 楓、木村ひとみ、中段沙緒里、藤原貴絵、寺尾奈美、寺尾貞巳、村田篤志、中村健一、濱野親子、山本美由紀、山形智子、昌木秀介、森田直美、手島和子、本丸忠生、丹治知恵、碓井公治

フットチェックに対する意識と今後の課題 ～スタッフアンケートを試みて～

○藤野洋子、住岡祐子、川本千夏、西原真由美、片山千秋、山縣抄織、栗栖啓子、中園博司、有田美智子、頼岡徳在

維持血液透析専門外来における下肢末梢動脈疾患に関連した現状調査

○兼山利恵美、山形智子、荒神良太、はえ田優子、平井章夫、石橋真央、木村ひとみ、横谷佳祐、俵 静香、松田里奈、下井章琴、山本美由紀、昌木秀介、森田直美、手島和子、本丸忠生、丹治知恵、碓井公治

クリーンルーム導入後の経過とスタッフの意識調査について

○石田真実、竹内佳奈、龍野浩典、小野亮一、福馬美保、錦郡 司、本丸忠生、加藤曜子、山下和臣

当院における機械室の準クリーンルーム化への取り組み

○三原 彩、田淵嵩人、黒谷成論、珍部三恵子、北森初男、森田直美、福田剛三、藤川 博、本丸忠生、水入苑生、重本憲一郎、原田 知

オーバーナイト血液透析における患者の身体的・精神的変化について ～聞き取り調査からわかったこと～

○安永直宏、中村直正、藤川 博、新田千恵美、小嶋加代子、西澤欣子、水入苑生、重本憲一郎、原田 知

連携病院のご紹介 Vol.2 ～地域連携室より～

地域連携室 課長 佐々木 章

このコーナーは当院が医療連携を結んでいる病院の、主に連携担当者としての役割を担っている地域連携室のスタッフの方に焦点を当てて、ご紹介させていただくコーナーです。

第2回は、当院と透析連携を結んでいるアマノリハビリテーション病院の地域連携室をご紹介します。今回は森川地域連携室室長と原相談員にお話を伺いました。

○回復期のリハビリをご希望される透析患者さんの転院をお受けいただきありがとうございます。透析患者さんにとって専門の病院でリハビリが出来る機会はとても貴重だと思っています。

(森川室長)「こちらこそお世話になっています。当院では運動器のリハビリをメインに、他院では受け入れが難しいと言われた患者さんも可能な限りお受けするようにしています。多くの方にリハビリの機会を持っていただければと思います。」

(原相談員)「透析患者さんの退院支援についても、原田病院の地域連携室さんと連携を取りながら行なっています。様々な問い合わせにもいつも迅速に対応いただきありがとうございます。」

○こちらこそありがとうございます。病院の周辺にはスーパーやドラッグストア、ホームセンターなどたくさんのお店があり非常に便利ですね。

(原相談員)「そうですね。入院中のリハビリにおいても実際に療法士が付き添ってお店へ行き、買い物をするなどの訓練も行なっています。退院後の生活を想定した効果的なリハビリの実践を目指しています。」

○地域包括ケアという病床がありますが、こういった機能をもつ病床でしょうか？

(森川室長)「急性期治療が終了した後、すぐに自宅や施設へ退院するには不安のある患者さんに、在宅復帰に向けての準備を整えて頂くための病床です。ご自宅で療養中の患者さんが、病状の変化により入院治療が必要になった場合にも入院を受け入れています。入院期間は60日が限度になっています。」

○ありがとうございます。対象となる方がおられましたらご相談させてください。

今後も連携を深めていきたいのでよろしくお願いいたします！本日はお忙しい中ありがとうございました。

(森川室長・原相談員)こちらこそよろしくお願いいたします。



医療法人ハートフル
アマノリハビリテーション病院
廿日市市陽光台5丁目9番地



左から順に、原相談員、今野相談員、森川室長、村井相談員、廣幡相談員

地域連携室スタッフの皆さん
いつも丁寧にご対応頂きありがとうございます！

一陽会クリニック新聞

患者さんが透析を行う上で大切な血圧管理や食事管理など、様々な分野に興味を持っていただけるよう、年に3～4回クリニック新聞を作成しています。

あわせて、患者さんだけでなく家族の方や送迎の方などにも見て頂くよう、イラストや写真を取り入れたA4サイズの“ミニクリニック新聞”も配布しています。

今月は自分の血圧を知って頂くことをテーマとして、自宅での血圧測定方法や血圧手帳の記入方法などを記載しています。

これからも患者さんに興味を持って頂けるようなクリニック新聞を作成するよう心がけていきたいと思います。

一陽会クリニック 大畑 楓



Column いきいきさん

第40回 看護部 外来 主任 今田 美紀



少しでも患者さんの気持ちに寄り添うように心がけています。

子供の親離れをきっかけに昨年から正職員として再出発をし、現在は新たな視点を持ちながら目の前の課題に一つずつ取り組んでいます。外来での勤務は12年目になりますが、安心・安全な医療を提供することが大切だと思っています。自宅で治療を継続している患者さんは、それぞれに社会生活との両立を行っており様々な不安や苦勞を抱えている方もいます。まだまだ力不足の私ですが、少しでも患者さんの気持ちに寄り添うことができるよう心がけています。

仕事上のささやかな楽しみは職員食堂から宮島を眺めることです。山の稜線がくっきり綺麗に見える時は、「弥山に登りたい！」との衝動にかられています。

最後にこれほど長く勤めさせて頂けたのも恵まれた環境、そして周りの皆さまのおかげだと感謝しています。今までの経験から得た「出来事、出会いにはすべて意味がある」「やりたいことは上手にいく」この思いを持ちこれからも進んでいきたいと思っています。



健康レシピ

豚肉のカレーソース煮



エネルギー 239Kcal／たんぱく質 12.7g／塩分 1.0g

(写真にあるごはんのエネルギー量は含まれていません。)

《材料(4人分)》

豚肉(とんかつ用)…240g(4枚)
塩……………1.6g(小さじ1/4強)
こしょう……………少々
小麦粉……………適量
油……………2g(小さじ1/2)

カレーソース

玉ねぎ……………120g(中1/2個)
マッシュルーム缶……………40g
カレー粉……………6.0g(大さじ1)
バター……………4g(小さじ1)
生クリーム…16g(大さじ1強)
コンソメ…2.0g(小さじ1/3強)
塩……………1.6g(小さじ1/4強)
小麦粉……………8g(大さじ1弱)
水……………適量
パセリ……………適量

《作り方》

- ① フライパンに油をひき、塩、こしょう、小麦粉を振った豚肉を焼く。
- ② カレーソースを作る。
1) 玉ねぎは細切りに、マッシュルームは缶から出し、水気を切っておく。2) フライパンにバターを入れ火にかけ、玉ねぎ、小麦粉、カレー粉を入れ、玉ねぎがしんなりするまで炒める。しんなりしてきたら、マッシュルーム・生クリーム・コンソメ・水を加え、味を馴染ませる。
- ③ ①で焼いた豚肉を食べやすい大きさに切り、カレーソースに加え、絡める。
- ④ お好みで上にパセリをふる。

管理栄養士 門脇 貴子